

岐阜のカスミサンショウウオとニホンイシガメの保全にむけた取り組み

岐阜大学応用生物科学部 動物繁殖学研究室
岐阜県立岐阜高等学校 自然科学部生物班
世界淡水魚園水族館 アクア・トト ぎふ
岐阜市自然共生部自然環境課

環境の悪化や外来生物の増殖により、身近にいたはずの淡水生物は、全国的に減少している。

岐阜県には多くの自然環境が残され、多くの野生生物が生息しているが、環境の悪化や外来種の増加は他地域と同様に深刻になりつつあり、絶滅の危機に瀕している生物も少なくない。本ポスターでは、岐阜大学、岐阜高校、世界淡水魚園水族館、岐阜市自然環境課が協働して行っている岐阜のカスミサンショウウオとニホンイシガメの保全の取り組みについて紹介する。

淡水生物園

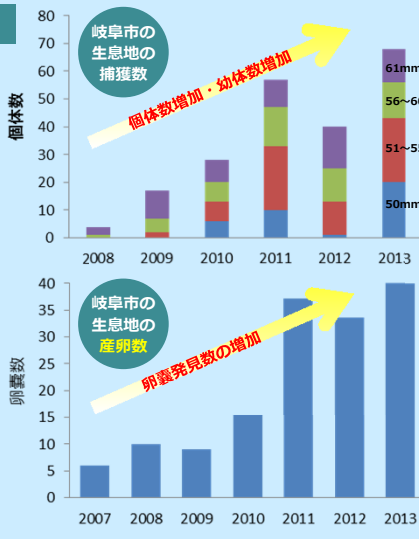
検索

岐阜県のカスミサンショウウオの現状

- 岐阜県の生息地は岐阜市内と揖斐川町内の2ヶ所のみ
- 岐阜市内の生息地・・・住宅地に隣接、産卵場は生活排水や殺虫剤等が流入したところのある駐車場のU字溝、2008年の調査時には大型の老齢個体のみが発見
- 揖斐川町内の生息地・・・産卵場は水涸れが起こることがある、アカライモリによる卵囊の食害を確認

生息域内外での保全活動

- 岐阜高校・世界淡水魚園水族館・岐阜市役所の積極的な保全の取り組みにより、現地の生息数が回復してきた。



- 2003年～ 岐阜市が繁殖確認調査を実施
- 2007年～ 岐阜高校が加わり生息調査、卵嚢の保護および孵化、孵化幼生の育成・生息地への放流、生息地の環境対策など
- 2007年～ 世界淡水魚園水族館が飼育開始、飼育下繁殖の成功、生息地への放流、展示・普及啓発活動など
- 2010年～ 危険分散を考慮し、岐阜県内3ヶ所に域外保全地を整備 (2010年：水族館敷地内、2011年：淡水生物園、岐阜市市有地)

カスミサンショウウオ



レッドリスト
環境省版 (2012)
絶滅危惧Ⅱ類
岐阜県版 (2009)
絶滅危惧Ⅰ類

- 西日本地域に広く分布する小型サンショウウオ
- 岐阜県は本種の分布東北限で、生物地理的に貴重
- 岐阜市の個体群は「岐阜市自然環境の保全に関する条例」で「貴重野生動物種」に指定され、捕獲や採取等は禁止

ニホンイシガメ



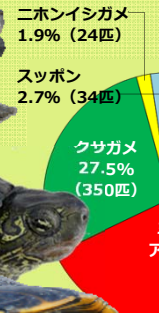
レッドリスト
環境省版 (2012)
準絶滅危惧
岐阜県版 (2009)
準絶滅危惧

- 本州・四国・九州などに広く分布
- 近年になり外来生物のアライグマによる捕食被害、クサガメ (外来種) との交雑による遺伝子汚染が明らかになり、絶滅のおそれが高まっている
- 近年初めてレッドリストに絶滅危惧種として掲載

カメの生息実態調査 - 危機にあるニホンイシガメ



捕獲割合



- 岐阜大学と岐阜高校がワナによる淡水生カメ類の捕獲調査を実施 (岐阜市自然環境基礎調査と連携)

- ニホンイシガメ・・・日本固有種
- スッポン・・・在来個体と養殖個体が混在・交雑している可能性が指摘されている
- クサガメ・・・外来種である可能性が近年指摘されている。朝鮮半島、中国東部、台湾にも自然分布。
- ミシシippアカミミガメ (商品名：ミドリガメ)・・・北米原産、環境省指定要注意外来生物

調査期間：2010年8月27日～2013年11月末 (約3年間)
調査地：岐阜大学構内河川・池、接続する村山川と新堀川
総捕獲数：1146匹 (再捕獲数は含まず)

(注) スッポンは捕獲ワナの形状から捕まりにくく、実際の生息数を反映していない (過小評価している) と考えられる。

- ミシシippアカミミガメが大半を占め、固有種のニホンイシガメがわずか。
- 岐阜大学構内でのミシシippアカミミガメの繁殖を確認
 - ・2004年、2009年：産卵中のアカミミガメを発見 (回収した卵は、のちにすべて孵化)
 - ・2011～2013年：孵化直後の幼体が発見
 - ・毎年：当歳または数年以内と思われる幼体を多数捕獲
- クサガメも生後数年以内と思われる幼体を多数捕獲、ニホンイシガメの幼体の捕獲はこれまでに一度もない。
- アカミミガメの増殖と生息域拡大を阻止するため駆除を進め、種構成の動向を追跡調査中。増殖理由を明らかにするため、駆除個体を活用して解剖学的・生理学的手法により調査中。

岐阜大学 淡水生物園の活動



淡水生物園 (2011年完成)

- 岐阜市の希少淡水生物を保全し、あわせて保全研究や環境教育を行う場として、岐阜大学構内に整備した 200 m²ほどの人工池
- カメ自然飼育エリア、カメ研究飼育エリア、カスミサンショウウオ自然飼育エリアからなる

〔活動内容〕

1. 岐阜大学地区および周辺域のカメの生息実態調査
2. ミシシippアカミミガメ等の外来カメの防除
3. カメ類の繁殖生理に関する研究
4. 岐阜市 (大学周辺) のニホンイシガメの域外保全
5. 岐阜市のカスミサンショウウオの域外保全
6. 保全活動の情報発信・普及啓発

ニホンイシガメの自然飼育エリア

カスミサンショウウオ自然飼育エリア



カメ研究飼育エリア (区画池)

淡水生物園のトピックス



カスミサンショウウオの成体(体長2013年7月に園内で3匹 (7.5~10cm) 発見。2011年に初めて淡水生物園に放流した幼体が発見・産卵していた証拠

2014年、園内での初産卵確認。孵化直後の幼生11匹を発見

ニホンイシガメ。2011年から毎年孵化

岐阜高校の生息地からカスミサンショウウオの幼体(体長10cm)を発見。岐阜市自然環境課、岐阜市自然環境課、その他生息地の調査(2011年から毎年)、淡水生物園に放流 (生息地は現地へ放流)

岐阜の淡水生物種録BOOK ぎふの淡水捕獲物をまもる Table Free オールカラー 74ページ 動物繁殖学研究室 編 2014年発行

フリー冊子「ぎふの淡水生物をまもる」発行!

(初版2014年3月発行、増補改訂版2014年7月発行)

カスミサンショウウオやニホンイシガメの保全活動をはじめ、岐阜エリアの淡水生物やその保全・研究などの取り組みを紹介。

PDF版 公開中 → <http://www1.gifu-u.ac.jp/~lar/>

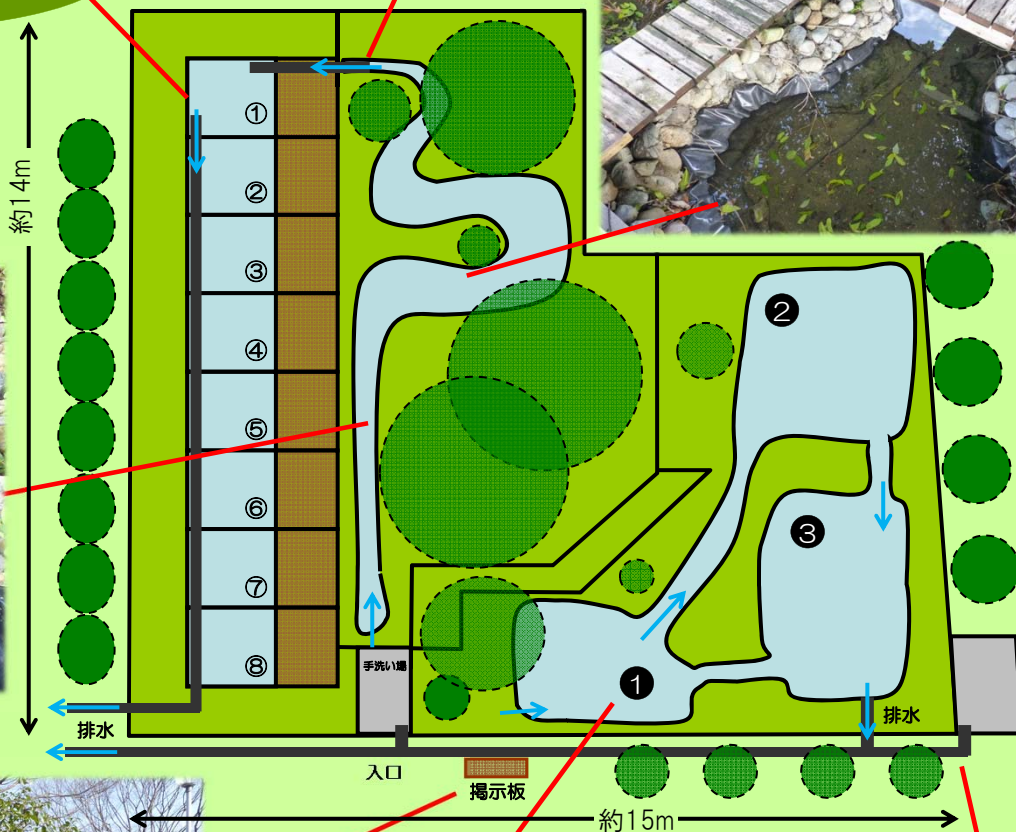




カメ研究飼育ゾーン
(8つの区画池)



サンショウウオ
自然飼育ゾーン



カメ自然飼育ゾーン
(3つの丸池)



現在地

応用生物科学部棟を出て、前の橋を渡り、左の駐車場を通りぬけて外周道路に出て、橋を渡ってすぐ左。外周道路沿い、テニスコートの横にあります。園内には入れませんが、外から見るができます。



淡水生物園
(在来水生物保全池)

